



〈向陵オープンセミナー開催〉

11月2日(水)、東北大学百周年記念会館「川内萩ホール」にて、本校主催の「令和4年度向陵オープンセミナー」が開催されました。

向陵オープンセミナーは、本校1学年・2学年理数科の生徒たちがこれまで取り組んできた探究活動の成果を発表する場として、年に一度、外部会場を使用しているものです。

午前中の発表Ⅰでは、2学年生徒による「Personal Research 中間発表」が行われました。これは、1年の2月に興味・関心を共にする生徒同士で結成したグループごとにテーマを決め、2年夏季休業を中心に実施された「アカデミック・インターンシップ」で大学を訪問し、そこで深められた内容に関する中間発表で、全34班の中から学年投票で選ばれた5班が発表を行いました。



発表は21班「環境問題の現状と未来～緩和と適応」、16班「経済学のすゝめ～こんなとこまで経済学」、34班「歴史学ってなんだろう?」、29班「薬学における副作用・副反応について」、6班「異文化理解のすすめ」の順で行われ、各班の発表後には会場から多くの質問が出されました。

午後の発表Ⅱでは理数科の2学年生徒による課題研究中間発表が行われました。課題研究は理数科の核となる活動であり、論文等の調査、実験や検証、研究内容の発表などの一連の活動をとおして、理数科の生徒たちは科学を探究する者として必要な資質・能力を身につけていきます。



今回は理数科の代表3班がそれぞれ「色の違いによる光が物体に及ぼす影響について(物理2班)」、「環境によるエビの体色変化(生物1班)」、「水の力を決める物とは一体何か(地学班)」について発表を行いました。質疑応答では、「光の三原色は人間の目による主観的な分類であるが、なぜそれを元に物体への影響を調べようと考えたのか」「エビの体色変化を観察するのに同一のエビを使用しなかったのはなぜか」など、会場から鋭い質問が寄せられましたが、それらの質問にも堂々と答える代表生徒たちの姿が印象的でした。

さらにその後には1学年の生徒による「ビブリオバトル学年チャンプ決定戦」が行われました。ビブリオバトルは、5分間の時間で自分のおすすめの本について語り、それを聞いた人たちに最も「読んでみたい」としてもらった本を「チャンプ本」として選出します。

本校でのビブリオバトルへの取り組みは今年で5年目となります。各クラスで勝ち抜いてきたクラスチャンプの生徒たちが全校生徒の前でビブリオバトルを繰り広げました。さすがにクラスを



勝ち抜いてきただけあり、どのクラスチャンプの時間配分、内容の分かりやすさ・面白さも非常にレベルの高いものでした。全員の発表が終了した後、全校生徒による投票が行われ、1年5組の多田悠吏さんが見事に今年度のチャンプ、1年3組の鈴木創太さんが準チャンプとなりました。チャンプとなった多田さんは、この後、本校代表としてビブリオバトル県大会に出場します。

どの発表もそれに対する質疑応答も内容の濃いものばかりで、生徒たちがこれまで取り組んできた活動の成果を発表し、それを互いに豊かな学びとして充実した時間と知的空間を共有できた一日となりました。



〈中庭フェスティバル〉

10月17日（月）と19日（水）の2日間にわたり、昼休みに本校の中庭を使い、「秋の中庭フェスティバル」が開かれました。

本校では例年「秋の中庭コンサート」としてバンドなどの音楽やダンスを中心としたイベントを行ってきましたが、今年度はそれが「中庭フェスティバル」としてリニューアルされました。

ダンスグループあり、バンド演奏ありと、さまざまなグループによるパフォーマンスが披露され、昼休みのひとときが活気に溢れていました。今年度はリニューアルに伴って参加演目の幅を広げ、コントなどのお笑いの参加の機会も設けましたが、その部門での参加者はいませんでした。しかしその分、司会役の1年生が軽妙なトークで会場を大いに盛り上げてくれました。「中庭フェスティバル」は今後もより多くの生徒たちが創造的なパフォーマンスを披露できるように、内容を充実させていく予定です。



〈3学年総合型選抜・学校推薦型選抜受験開始〉

3学年の総合型選抜・学校推薦型選抜受験が始まっています。

今年度は本校3学年の21名の生徒たちが総合型選抜やAO入試、45名の生徒たちが公募推薦や指定校推薦の学校推薦型選抜を受験します（11月7日時点）。受験先は宮城大学や東北大学、福島大学、岩手大学、山形大学など様々ですが、どの大学を受験する生徒も、大学で学びたいことを明確に伝えることができるように志望理由を突き詰めたり、選抜に向けて小論文や各種試験の準備を行ったりと、それぞれが努力を積み重ねています。放課後になると職員室前の面談スペースは指導教員から指導を受ける生徒でいっぱいになり、気迫に溢れています。

学校推薦型選抜の受験に向けて準備を進めているある生徒に、現在の状況をどう考えているか尋ねてみたところ、「限られた時間の中で学習内容と志望理由を明確に伝えるのはなかなか難しいですが、指導してくださる先生とお話をして希望の大学に進学する理由がはっきりしてくると、学習意欲も高まってくるのを感じます」という答えが返ってきました。

3年生の受験はこれからが本番です。生徒が進路希望を達成し、また、進学後も意欲を持って学びを続けていくことができるように、本校教員も全力で指導を行って参ります。

宮城県仙台南山高校ホームページでは、学校に関する最新のニュースを掲載しています。下のQRコードを読み込んでご覧ください。

【宮城県仙台南山高校ホームページ】
<https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>

